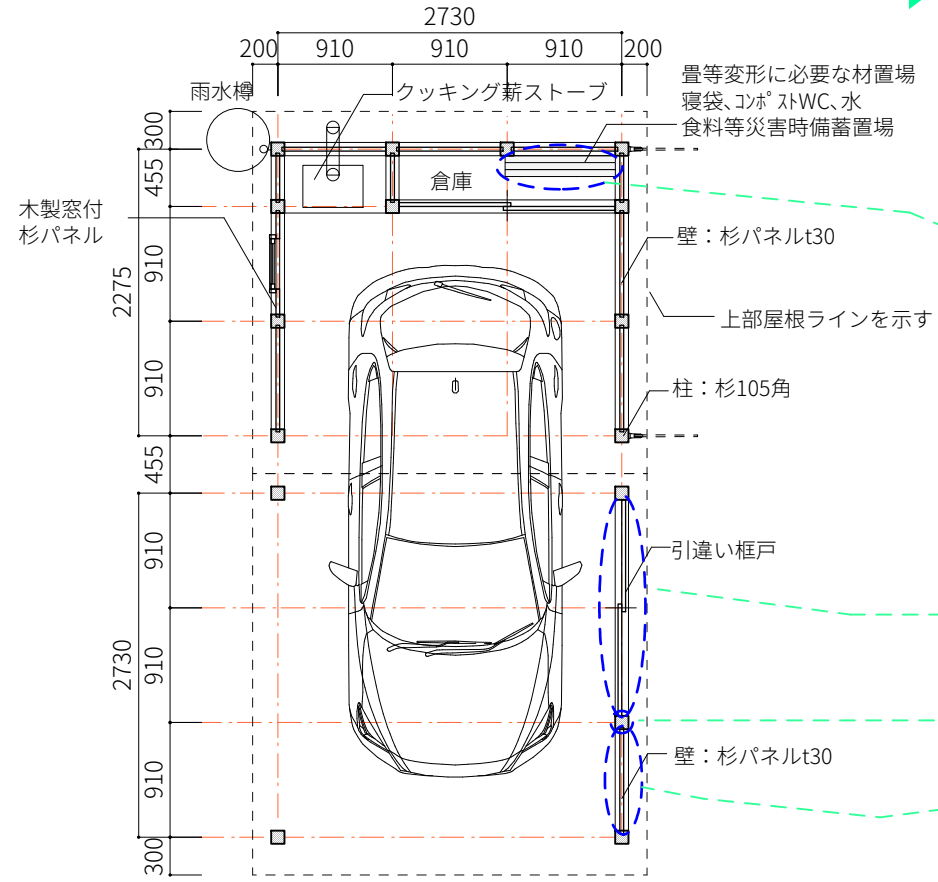
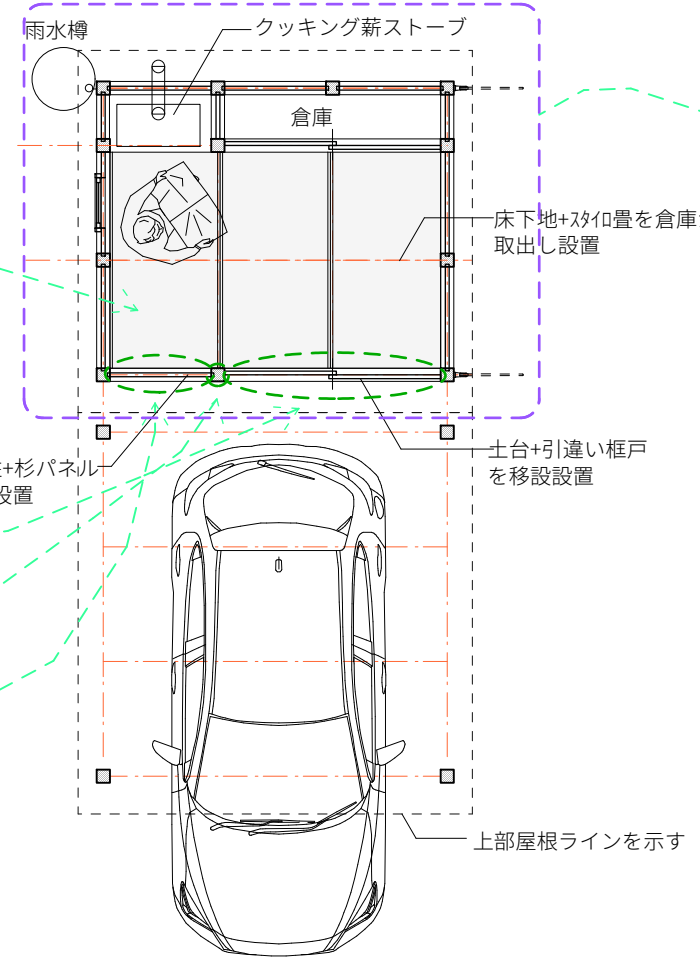


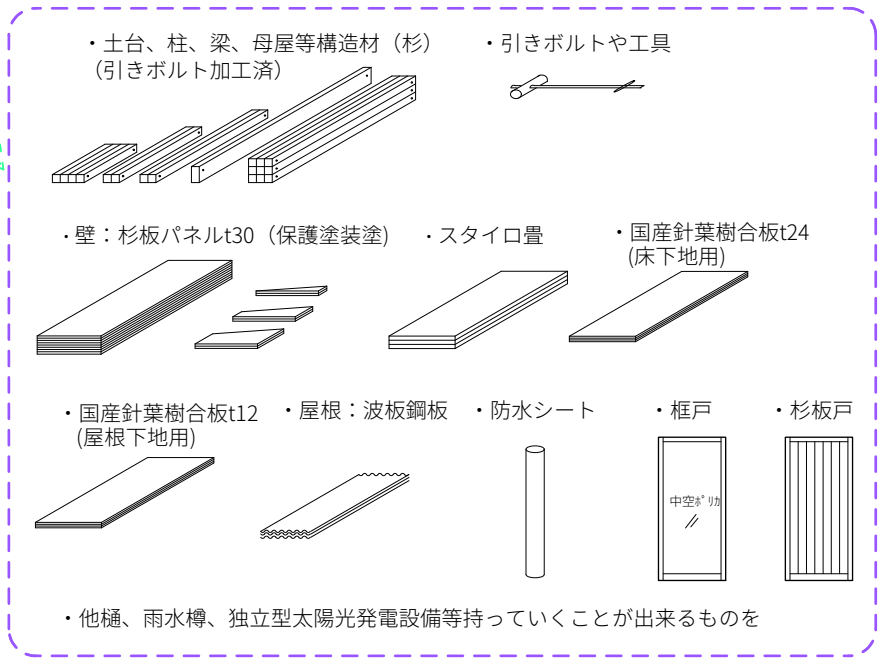
■平常時：倉庫付カーポート



■災害時：一時避難休憩小屋

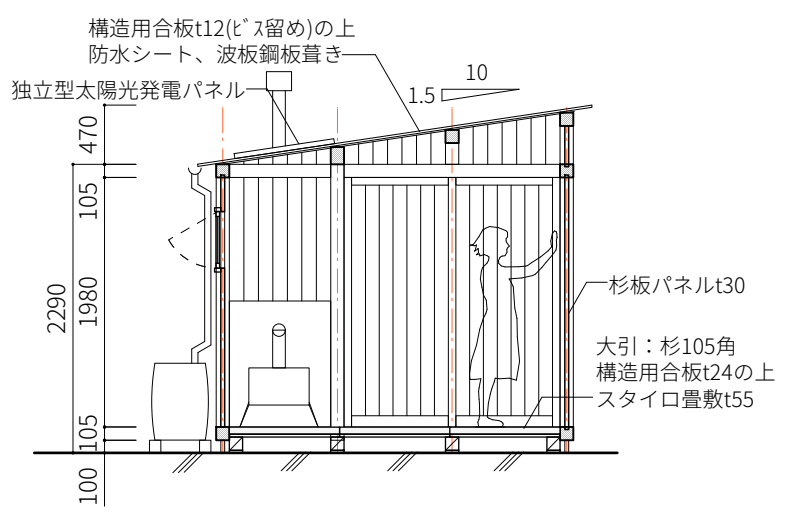


■災害時（この場所自体から避難時）：
一旦解体し、別の場所で建設して一時避難休憩所へ

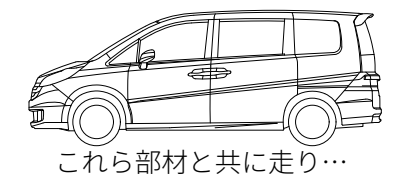


- ・さらに前と後の構造体を分けることによりこの場所自体が危険な場合は全部を解体し、移動可能。
- ・一部の梁材（2.7m以内）を除き、出来るだけ部材を2m前後に分解出来るパーツの構成とする
- ・引き金物等で土台、柱、梁を接合し、取り外ししやすい形状

- ・平常時は奥に倉庫があるカーポート
- ・木造かつ杉板パネルを使用し、温かみのある木造住宅に馴染むデザインのカーポート
- ・前面を伸ばすことにより2台置きも可能
- ・構造材はほとんどが105角、105×210の杉材で構成
- ・倉庫は非常時用の部材、災害グッズ等の置場へ
- ・屋根上部の独立型太陽光発電パネルと装置はカーポートの照明、電動自転車の充電に利用可能



- ・後ろの壁に一部壁を設置しておくことにより前から一部の壁、柱、建具等の移動、倉庫から床材等を取り出すことにより一時避難、休憩の場、小屋へ。さらに何かあった際はすぐに車に乗り避難可能
- ・キッチン薪ストーブ、雨水槽、独立型太陽光発電設備等により最低限の生活出来る様配慮



これら部材と共に走り…



どこかに建てることも可能